

## 白山神社とは

能生白山神社は、糸魚川市の能生に位置する神社で、式内社「奴奈川神社」の論社の一つとされています。

祭神には奴奈川姫命、伊弉那岐命、大己貴命が祀られており、白山信仰を広めた泰澄大師によって、社号を白山権現と改めたと伝えられています。

神社には神仏習合の名残を残す聖観音立像(重要文化財)をはじめとした、多くの仏像も残されています。



## 白山神社の舞楽

毎年4月24日の春季大祭で奉納される舞楽は、市内にある4つの重要無形文化財のうちの一つです。これは、室町時代の中ごろに大阪四天王寺から伝わり、伝承されてきた舞楽として知られています。

この舞楽では、稚児が中心となる舞が多く、地元の人々や遠方から訪れる観客を神秘的な世界へと引き込んでいきます。

特に最後に披露される舞楽「陵王」は、圧倒的な迫力を持っています。



## 活動内容は・・・

白山神社文化財保存会では、以下のような活動に取り組んでいます。

### ■文化財の保存・伝承・活用

国の重要文化財に指定されている本殿や市の文化財に指定されている拝殿の維持管理、神社に収蔵されている数々の文化財の保存、活用などの活動を行っています。



### ■舞楽の伝承・後継者の育成

糸魚川に春の訪れを告げる白山神社の春季大祭。奉納される舞楽は、全11番のうち8番は稚児の舞で構成されるため、後継者の確保や育成が課題となってきています。

由緒ある舞楽の伝統を絶やさないよう、伝承活動や後継者の育成を行っています。



白山神社について詳しくは、公式ホームページをご確認ください。

<https://www.nou-hakusanjinja.jp>